いしかわ創生大学連携研究プロジェクト支援事業

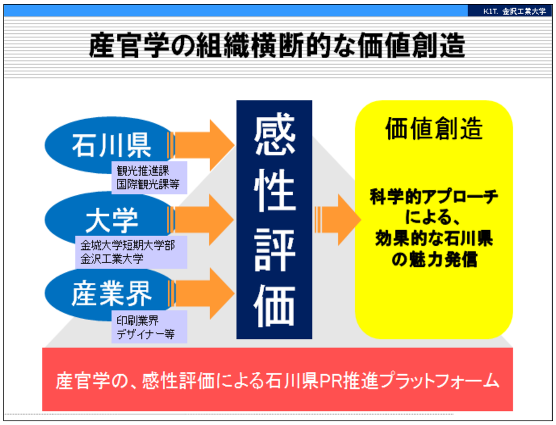
テーマ②　石川の特徴である、自然景観や文化資源を
活かすための発信方法を開発

感性評価に基づく石川県PRのプラットフォームづくり

金沢工業大学　教授　山田　真司

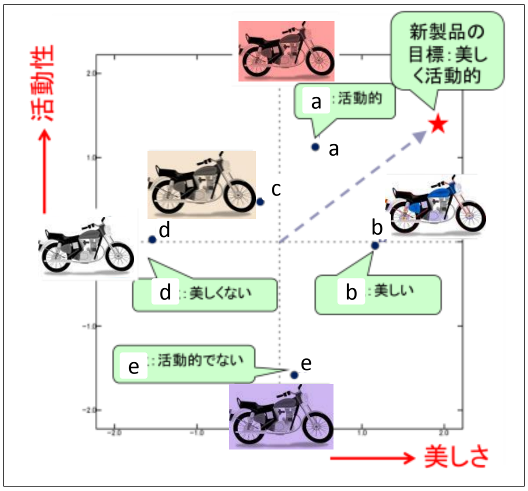
1. 研究の目的

本研究では、感性評価を用いて観光客や地域住民に対して調査を実施する。その分析結果から導き出された科学的根拠を用いて、効果的に観光客誘致に繋げるためのPRモデル・デザイン・発信方法を開発する、石川県の魅力を効果的に発信していくための産学官のプラットフォームを作り上げることを目的としている。



2. 研究内容

「感性評価」と呼ばれる分析手法を用いて、これまで作り手側の個々の感性で行われていた石川県のPRモデル・デザイン・発信方法に対して科学的な根拠を示すことで、効果的なPR方法を導き出す。右図は感性評価によりオートバイの新製品イメージを決める際の図であるが、今回はこの手法を応用し、石川県の持つ観光資源の効果的なPR方法・デザインの統一的な指標を探る。



例）感性評価を用いて多数のオートバイデザインを
分析することで、新製品イメージ効果的に行う

3. 成果目標

本事業では、オブザーバーとして石川県の担当者、地元産業界のコアメンバーが参画する研究会を発足し、研究に取り組む。感性評価について基本的な認識を共有するための勉強会を行い、研究対象テーマの絞り込みを産官学で行うためのプラットフォームの形成を目指す。石川県の国内外に対するブランディングの強化や、観光客誘致、リピーター確保に繋げるPRを産官学で推進していくことが、本事業の目標である。